



# ジュンサイを残そう市民の会 活動記録



作成日：2021/02/28

活動日時	2021年（令和3） 2月 28日（日） 10:00～10:45
天 候	晴れ 大気まだ寒冷だが風無く、光がより強く感じられる
活動場所	じゅん菜池緑地内
参加者数	13名
活動内容	市の管理する大池（K池）端に産み付けられたアズマヒキガエルの卵塊を会の管理地の池に一部移動させる作業を行った。 ①ソメイヨシノの木の辺りと②四阿脇の2か所に産卵しており、それぞれ底直径22cmのバケツに4～5cm程度の深さ量の卵塊を採集し、①は第二調整池のモミジ小路側下に2か所に分置。②は育成池に整備したカエル淵にやはり2か所に分けて置いた。
備 考	育成池端、本池との水路脇に土の傾斜面を作り、カエルになった時はいあがりやすい環境を整えた（カエル淵）。数年前ここにカエルが産卵していた場所である。第二調整池は、カエルの生息地である林に近い位置にあり、生き延びる個体が多いのではないかと期待がある。すでに卵割（2分割）が開始されている個体が殆どのように見受けられた。



アズマヒキガエル（ガマガエル）の卵塊をすくう作業を行う（左上）

アズマヒキガエルの卵塊は帯状の中に連なっている（右上）

管理地育成池のカエル淵に移動させる（左下） 第二調整池の池端に移動させる（右下）

アズマヒキガエルも今や生息環境が狭まり、年々減少している中、ここじゅん菜池で元気に生き続けてもらいたいものです。

